

令和元年度
事業報告書

社会福祉法人
名張市社会福祉協議会

目 次

I	【 法人本部拠点 】	
ア.	法人運営事業	1
イ.	地域福祉増進事業	7
	1. 地域福祉活動計画の推進	
	2. くらし応援ネットワーク事業	
	3. 生活支援体制整備事業	
	4. ボランティアセンター事業	
	5. 福祉まちづくりセンター事業	
	6. 福祉団体等当事者活動支援	
ウ.	なばり暮らしあんしんセンター	18
	1. 福祉サービス利用援助事業	
	2. 成年後見事業	
	3. 生活困窮者自立支援事業	
	4. 生活福祉資金等貸付事業	
II	【 在宅福祉サービス拠点 】	
	【 老人福祉センター「ふれあい」拠点 】	27
	1. 各事業の実績	
	2. 適正な事業推進に向けた取り組み	
III	【 昭和保育園拠点 】	38
	1. 事業の概要	
	2. 適正な運営体制確率	
	3. 特別保育事業	
	4. マイ保育ステーションの取り組み	
	5. 「子ども子育て新制度」に沿った事業展開	
IV	【 総合福祉センターふれあい拠点 】	43

※ 【拠点】は、会計の区分における拠点区分に該当します。

I 【法人本部拠点】（地域福祉課）

ア. 法人運営事業

1. 法人経営の基盤強化

1. 経営組織の適正運営

①理事会の適正な運営

事業計画・予算、事業報告・決算についての承認、組織構成会員の入会及び役員等の選任を行いました。

開催日	議案及び審議事項
第1回 6月4日(火)	1) 平成30年度事業報告及び附属明細書の承認について 2) 平成30年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認について 3) 組織構成会員の入会について 4) 平成30年度地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について 5) 令和元年度地域福祉活動助成事業にかかる審査について 6) 就業規程の一部改正について 7) 非正規職員就業規程の一部改正について 8) 評議員選任・解任委員の選任について 9) 評議員候補者の推薦について 10) 定時評議員会の日時及び場所、目的である事項の決定について
第2回 6月19日(水)	1) 会長の選任について 2) 副会長の選任について 3) 常務理事の選任について 4) 顧問の委嘱について
第3回 9月20日(金)	1) 名張市社会福祉基金の設置運営及び管理に関する規程の廃止について 2) 名張市地域福祉金庫基金の設置運営及び管理に関する規程の廃止について 3) 補正予算（第1号）について 4) 組織構成会員の入会について 5) 第2回評議員会の招集について
第4回 12月20日(金)	1) 就業規程の一部改正について 2) 非正規職員就業規程の一部改正について 3) 給与規程の一部改正について 4) 非正規職員給与規程の制定について 5) 組織構成会員の入会について 6) 評議員候補者の推薦について
第5回 3月17日(火)	1) 補正予算（第2号）について 2) 訪問看護ステーション事業の廃止について 3) 定款の一部改正について 4) 組織規程の一部改正について 5) 第4次名張市地域福祉活動計画について 6) 令和2年度事業計画について 7) 令和2年度予算について

	8) 第3回評議員会の招集について
--	-------------------

②評議員会の適正な運営

理事会で認定を得た事業計画・予算、事業報告・決算等重要事項の議決の他、理事の選任について承認を得ました。

開催日	議 案
第1回 6月19日(水)	1) 平成30年度事業報告の承認について 2) 平成30年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について 3) 役員の選任について
第2回 9月30日(月)	1) 補正予算（第1号）について
第3回 3月27日(金)	1) 補正予算（第2号）について 2) 訪問看護ステーション事業の廃止について 3) 定款の一部改正について 4) 第4次名張市地域福祉活動計画について 5) 令和2年度事業計画について 6) 令和2年度予算について 7) 役員の選任について

③監事監査の実施

事業運営と財務管理に係る監事監査を年2回実施しました。

実施日	議 題
決算監査 5月14日(火)	1) 平成30年度決算報告について 2) 平成30年度事業報告について 3) 財政援助団体監査の報告について
中間監査 11月26日(火)	1) 令和元年度上半期の事業報告について 2) 令和元年度上半期の経営状況について 3) 理事等の出席状況について

④組織構成会員種別会の開催

第4種、第5種、第6種の種別会を開催し、第4次名張市地域福祉活動計画の概要説明及び名張市における地域福祉の推進について意見交換会を行いました。

開催日	2月16日(日)
参加団体数（参加人数）	【第4種】 15団体中 6団体（8名） 【第5種】 125団体中 34団体（35名） 【第6種】 22団体中 8団体（8名）
内容	（第1部）第4次名張市地域福祉活動計画の概要説明 （第2部）意見交換

2. 内部管理体制の構築

法人の健全な経営基盤を確立、業務の円滑な運営を図るため、経営会議を年21回、運営連

絡会議を11回開催し、法人の経営・運営に係る協議、検討を進めました。

3. 財務規律強化と透明性の向上

①適正な財政運営

顧問税理士の指導のもと、関係規程に則した適切な税務及び財務管理を行いました。

また、積立金管理規程に則した適切な資産管理と消費税率改正に対応した経理事務の執行を行いました。

②施設・財産管理

老朽化した施設を維持管理するため、改修工事を行いました。

ア. 昭和保育園

職員便所(一基洋式化)改修工事、給食室空調機器追加工事 他

イ. 総合福祉センターふれあい

風呂用薬注装置取替修繕、空調機器密閉式膨張タンク及び安全弁取替修繕 他

③透明性の向上

計算書類等を社協日より「ほほえみ」やホームページに掲載し、積極的に情報を公開しました。

4. リスクマネジメント体制の確立

リスクマネジメントに関する取り組み指針に基づきリスクマネジャー連絡会議を開催し、ヒヤリ・ハット事例の詳細な把握、検討を行い、適切なリスク管理に取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症に関する感染の予防・拡大防止の取り組みを検討・協議するため、リスクマネジメント委員会を開催しました。

(リスクマネジャー連絡会議)

開催日	議 案
第1回 7月18日(木)	1) ヒヤリ・ハット及び事故報告(4月～6月)
第2回 1月17日(金)	1) ヒヤリ・ハット及び事故報告(7月～12月)
第3回 3月18日(水)	1) ヒヤリ・ハット及び事故報告(1月～3月)

(リスクマネジメント委員会)

開催日	議 案
第1回 3月11日(水)	1) 新型コロナウイルス感染症への対応について 2) これまでの法人全体での取り組みについて 3) 取り組み内容の確認
第2回 3月25日(水)	1) 3月11日以降の法人全体の取り組み確認 2) 管理用衛生消耗物品にかかる現況確認 3) 各課(園)の取り組み状況等について 4) 職員管理に係る事項 ・ハイリスクをもつ職員への対応 ・小学校等の休業に伴う職員の休暇に伴う対応

5. 福祉啓発・広報活動

広報作業部会を中心として、社協が行う事業やさまざまな活動状況を紹介するとともに、地域福祉やボランティア活動、各種募金、相談業務の案内等積極的な情報発信に努めました。

①名張市社会福祉大会の開催と福祉功労者の顕彰

第49回名張市社会福祉大会を11月2日(土)、a d sホールにおいて開催しました。

②ホームページを活用した情報公開と発信

ア. ホームページ上で社協の概要、活動内容、計算書類等の情報を公開するとともに、福祉やボランティアの情報、イベントや各種募金について情報を発信しました。

イ. 情報公開と情報発信をする場としてのホームページを適切に運営・管理するため、随時情報を更新し、利用者や参加者の利便性の向上を図りました。

月平均アクセス数 11,645件

③社協だより「ほほえみ」の発行

年6回(奇数月)伊和ジャーナルの紙面に社協だより「ほほえみ」を掲載し、積極的な情報発信を行いました。

2. 職員の資質向上・人材確保

1. 職員の資質向上

人材育成研修として、職員の階層に合わせた階層別研修と、全職員を対象とした全体研修を計画的に実施しました。

①階層別研修

実施日	研修名	参加人数
4月1日(月)	新任職員研修	5名
5月8日(水)	新任職員研修(0級職員対象)三重県社協主催	4名
5月27日(月)	階層別研修(3～6級職員対象) 「働き方改革関連法・職場のマネジメントについて」	26名
10月18日(金)	階層別研修(0～2級職員対象) 「ゲームで遊ぶコミュニケーション」	20名

②全体研修

実施日	研修名	参加人数
8月26日(月)	メンタルヘルス(セルフケア)研修	28名
2月20日(木)	人材育成研修	37名

③担当者研修

実施日	研修名	参加人数
9月18日(水)	消費税率改正に伴う取扱い研修	16名
2月13日(木)	マイナンバー研修	8名

2. 人事考課制度・目標管理制度の適正運営

考課者研修を実施し、制度の適正運営に向けて、考課者の資質向上を図りました。

実施日	研修名	対象人数	参加人数
6月21日(金)	新考課者研修	2名	2名

3. 人材確保

ホームページ、社協だより「ほほえみ」への掲載等により職員の求人を実施し、職員確保に努めました。

所属	採用職員	
	正規職員	非正規職員
地域福祉課	事務員（3名）	事務局経営企画専門員（1名）業務スタッフ（5名） 事務スタッフ（4名）
介護支援課	看護師（1名）	看護師（1名）介護員（1名）運転手（1名）
昭和保育園		保育士（1名）調理員（1名）

3. 働きがいのある、働きやすい職場づくり

1. 働きがいのある職場づくり

- ・職員安全衛生管理の取組みによる職員の安全の確保、健康の保持増進

職員衛生委員会を毎月開催し、職員が働きやすい職場づくりを推進するため、さまざまな課題について協議しました。

また、安全衛生管理規程に則り配置した安全推進者が「職場の安全推進チェックシート」による職場点検を行うとともに、安全推進部会において働きやすい職場づくりを推進するための協議・検討を行いました。

①職員衛生委員会

実施日	議案
第1回 4月17日(水)	1) 安全衛生管理規程に基づく令和元年度管理体制について 2) 令和元年度安全衛生委員会年間計画について
第2回 5月24日(金)	1) 第1回安全推進部会の報告について 2) 衛生委員会構成メンバーについて 3) 令和元年度の取組みについて
第3回 6月24日(月)	1) 衛生委員会構成メンバーについて 2) 心の健康づくり計画に基づく取り組みについて
第4回 7月24日(水)	1) 第2回安全推進部会の報告について 2) チェックシートの運用活用方法について 3) 産業医による職場巡視について
第5回 8月28日(水)	1) 第3回安全推進部会の報告について 2) 職員アンケートについて 3) ストレスチェックについて
第6回 9月5日(木)	1) 各事業所の衛生管理等について（産業医による職場巡視）
第7回 9月25日(水)	1) 第4回安全推進部会の報告について 2) メンタルヘルス（セルフケア）研修参加者アンケートの結果について 3) ストレスチェックについて

第 8 回 10 月 30 日 (水)	1) 第 5 回安全推進部会の報告について 2) 心の健康づくり計画における取組みについて 3) 職員定着課題検討プロジェクトチームの設置について 4) インフルエンザ対応について
第 9 回 11 月 27 日 (水)	1) 健康診断後の指導、治療勧告について 2) 階層別 (0～2 級) 研修のアンケート結果について 3) インフルエンザ予防接種 接種済み職員状況について 4) 年次有給休暇取得状況報告について
第 10 回 12 月 25 日 (水)	1) 第 6 回安全推進部会の報告について 2) 働き方改革への取組みについて 3) 健康診断後の要受診者からの報告について
第 11 回 1 月 29 日 (水)	1) 第 7 回安全推進部会の報告について 2) インフルエンザ感染者数の報告等について 3) 介護休暇取得にかかる申請手続きについて
第 12 回 2 月 26 日 (水)	1) 安全衛生管理規程の一部改正について ・職員衛生委員会構成メンバーの見直し 2) 令和 2 年度 職員衛生委員会年間計画について 3) 令和 2 年度 心の健康づくり計画について 4) 新型コロナウイルス等感染症対策について
第 13 回 3 月 25 日 (水)	1) 第 8 回安全推進部会の報告について 2) 令和 2 年度 安全衛生管理計画及び実施結果報告書について

②安全推進部会

第 1 回 5 月 16 日 (木)	1) 4 月 17 日職員衛生委員会会議報告 2) 令和元年度安全推進部会の部長・副部長の選出について 3) 「職場の安全推進チェックシート」4 月本格実施に向けての確認と令和元年度計画について
第 2 回 7 月 18 日 (木)	1) 安全推進部会出席者について 2) 6 月 24 日職員衛生委員会会議報告 3) 「職場の安全推進チェックシート」4 月～6 月結果報告を受けて集計されたチェックシートの洗い出しについて
第 3 回 8 月 9 日 (金)	1) 7 月 24 日職員衛生委員会会議報告 2) 「職場の安全推進チェックシート」7 月報告分からの課題検討について
第 4 回 9 月 10 日 (火)	1) 8 月 28 日職員衛生委員会会議報告 2) 「職場の安全推進チェックシート」7 月報告分からの課題検討について 3) 産業医による職場巡視について
第 5 回 10 月 17 日 (木)	1) 9 月 25 日職員衛生委員会会議報告 2) 「職場の安全推進チェックシート」10 月報告分 (7 月～9 月分) からの課題検討について
第 6 回 12 月 16 日 (月)	1) 11 月 27 日職員衛生委員会会議報告 2) 職員への健康予防啓発について
第 7 回 1 月 17 日 (金)	1) 12 月 25 日職員衛生委員会会議報告 2) 「職場の安全推進チェックシート」1 月報告分 (10 月～12 月分) の分析について

第8回 3月18日(水)	1) 1月29日、2月26日職員衛生委員会会議報告 2) 「ほけん便り」の令和2年度計画の確認、令和2年度4月発行便り確認 3) 「職場の安全推進チェックシート」1月報告分の分析について 2) 安全推進部会 令和2年度計画について
-----------------	--

・職場の風土・環境にかかる職員への意識調査と分析

法人の重要課題となる離職に対する職員視点の課題を把握するために正規職員を対象に「職員アンケート」を実施し、組織改善につなげる分析・検討を実施しました。

2. 働きやすい職場づくり

・「働き方改革」に沿った、働きやすい職場づくり

働き方改革関連法に基づく改正項目の取り扱いを法人全体でまとめるため、経営会議、運営連絡会議、職員衛生委員会で協議・検討するとともに、その内容を職員に説明するため職員説明会を開催しました。

(職員説明会)

実施日	参加人数	計
2月12日(水)	正規職員(18名)、臨時職員(14名)、登録職員(7名)	39名
2月26日(水)	正規職員(22名)、臨時職員(9名)、登録職員(10名)	41名

・職場環境の改善へ向けた取組み

「職場の安全推進チェックシート」を活用した職場環境の課題抽出・職場環境改善を安全推進部会において検討しました。

イ. 地域福祉増進事業

1. 地域福祉活動計画の推進

1. 第3次名張市地域福祉活動計画（見直し計画）の推進

第3次名張市地域福祉活動計画（見直し計画）に基づき、地域づくり組織やボランティア、社会福祉法人等との連携を図り、「くらし応援ネットワーク事業」を推進しました。

また、ボランティアセンター機能の強化を図り、地域ささえあい活動の活性化や新たな地域での実践につながる支援を行いました。

さらに、名張市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを実効性のあるものとするため、鈴鹿市災害ボランティアセンターを視察し、マニュアルの見直し、改正を行いました。

2. 第4次名張市地域福祉活動計画の策定

第3次名張市地域福祉活動計画（見直し計画）の最終年度にあたることから、令和2年度から向こう5年間の計画として、第4次名張市地域福祉活動計画を策定しました。

計画策定にあたり、住民代表、福祉関係者、ボランティア代表、学識経験者、行政経験者等12名で構成する策定委員会において、計画についての検討・審議を行うとともに、計画の策定に関して、本会職員7名で構成する編集会議において、調査及び素案の作成を行いました。

策定委員会開催	4 回	編集会議開催	1 8 回
---------	-----	--------	-------

3. 地域福祉推進懇談会の開催

平成29年度、平成30年度に開催した地域福祉懇談会での意見を踏まえ、令和元年度の事業の展開や進捗状況について確認し、地域課題を整理しました。

日 程	11月5日(火)～12月2日(月) 【15地域づくり会長等と懇談】
検討テーマ	地域防災計画、健康づくり、こども（世代間）居場所づくり、空き家対策、子どもから大人まで参加できる事業、防災マップ情報更新、中高生に地域の将来像、移動サロン、若い世代の考え方アンケート調査、福祉部会の事業の取組み等

2. 暮らし応援ネットワーク事業

1. 地域担当職員（コミュニティソーシャルワーカー）の配置

地域福祉係地域担当職員3名（社会福祉士等）により15地域を担当し、活動者とともに地域福祉活動を推進するため、地域づくり組織や民児協の会合・行事等をはじめとする地域活動の場へ出向き、情報収集や提供、相談や助言を通して活動支援に取り組みました。

①地域の会議や事業等への参加状況

区分	活動支援	ふれあい・いきいきサロン	その他
件数	310件	86件(34サロン)	29件

2. 社会福祉法人としての地域貢献活動の推進

名張市内の社会福祉法人・施設が連携し「名張市における公益的な取組」を共に推進していく名張市社会福祉法人連絡会を開催しました。

7月30日(火)	参加者 9法人、名張市介護高齢支援室 1名 ・「働き方改革」について ・「働き方改革」に係る取組み調査（取りまとめ）による意見交換
3月19日(木)	新型コロナウイルス感染防止のため（中止）

3. 救急医療情報キットによる安心ネットワーク事業の推進

民生委員・児童委員の協力により、高齢者実態調査の機会に合わせて更新確認の声かけを行ってもらい、社協職員による更新確認と合わせて、個別の相談支援に取り組み、漏れの無い見守りのしくみづくりをすすめました。

令和元年度申込	581世帯・663名
利用者数	3,437世帯（316世帯増）・5,312名（267名増） （利用廃止1,778世帯・2,392名 ※H24からの廃止総数）
救急隊活用件数	16件 期間：平成31年1月1日～令和元年12月31日

3. 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターを1名配置し、各地域でのボランティア等による生活支援・介護予防活動について、地域担当職員とともに実施状況把握や活動支援に取り組みました。

1. 地域ささえあい活動

地域ささえあい活動団体	10 団体
地域ささえあい活動連絡会	7 月 31 日(水) 参加者 19 名 (10 活動団体) 3 名 (2 検討地域)、名張市 3 名
地域における ささえあい活動セミナー (県社協主催)	3 月 5 日(木) 延期 (新型コロナウイルス感染防止のため) 事例発表：NPO 法人生活支援つつじ・春日丘 ほっとまち茶房ききょう

2. 配食ボランティア活動

①研修会、連絡会

研修会	6 月 25 日(火) 参加者 29 名 (7 団体)・市民センター 4 名 講演「夏場における食中毒及び手指消毒の重要性について」 体験「ブルーライトを用いた手洗い実験」 意見交換会「食の安全について」
	12 月 12 日(木) 参加者 15 名 (5 団体) 「ノロウイルスについて」
連絡会	3 月 中止 (新型コロナウイルス感染防止のため)

②配食ボランティア活動実績 (地域福祉活動助成対象団体)

配食	8 団体/8 地域	配食数 16,927 食	対象者数 456 人	活動日数 332 日
会食	1 団体/1 地域	開催日数 11 日	延べ利用者数 425 人	

3. ふれあい・いきいきサロン

交流会	2 月 19 日(水) 参加者 45 名 (32 サロン) 新規立ち上げ検討 3 名 (2 サロン) サロンで使えるレクリエーションの体験及び地域福祉活動支援備品紹介
-----	---

4. 各地区の社会資源マップの作成と活用

「各地区の社会資源」マップを作成し、まちの保健室をはじめ、市内のケアマネジャーへ情報提供を行いました。

5. スクエアステップサロン活動支援、人材育成

地域担当職員と連携し、新たな介護予防・認知症予防として住民主体の「スクエアステップサロン」を各地域で展開していくための人材養成と活動の立ち上げ支援を行いました。

スクエアステップ体験会	10 月 31 日(水) 参加者 52 名
スクエアステップ リーダー交流会	1 月 31 日(金) 参加者 29 名 意見交換会、ステップパターンの発表
スクエアステップサロン	リーダーが中心的にサロン活動を展開 9 地域 (鴻之台希央台、比奈知、すずらん台、桔梗が丘、つつじが丘、美旗、百合が丘、赤目、蔵持)
スクエアステップ リーダー育成支援	29 回 9 地域 (名張、比奈知、すずらん台、つつじが丘、赤目、美旗、薦原、梅が丘、桔梗が丘)

スクエアステップの 出前講座	1 1 回 7 ヲ所（比奈知、すずらん台、錦生、赤目、梅が丘、薦原、福祉団体）
-------------------	---

6. 健康・子育て支援室主催まちじゅう元気プロジェクトへの協力

まちじゅう元気プロジェクトへの協力を通じて、一般介護予防の新たなサービス実施展開に関する取り組みをすすめました。

協力状況	・ 6 地域（会議やプロジェクト事業への参加、スクエアステップ実施等） ・ よくばリーダーフォローアップ研修実施協力（スクエアステップ体験）
------	---

4. ボランティアセンター事業

1. ボランティアセンター運営委員会

住民の多様なニーズに対応していくため、ボランティアセンターとしての取組み状況について報告するとともに、ボランティア活動者である運営委員とセンター運営における情報共有や地域課題解決に向けた協議・検討に取り組みました。

第 1 回	5 月 29 日(水) 委員 8 名、オブザーバー 1 名
第 2 回	8 月 7 日(水) 委員 9 名
第 3 回	2 月 13 日(木) 委員 6 名、オブザーバー 1 名

2. ボランティア登録数、保険加入

①ボランティア登録数

ボランティア登録数	1 8 1 団体(延べ 3, 6 3 2 人) ※サロン 8 2 団体含む 個人ボランティア受入登録施設 8 施設
	個人ボランティア 1 5 6 名 ※アドバイザー、ふれあい隊、災害ボランティア、施設含む

②ボランティア活動保険・行事用保険等の加入手続き

安心してボランティア活動ができるための基礎環境の整備として、ボランティア活動保険をはじめとした全社協補償制度の加入促進を図りました。

保険の種類	加入件数	加入団体数
活動保険	9 8 4 名	5 1 団体 9 7 1 名・個人 1 3 名
行事用保険	1 0 2 件	2 6 団体 5, 3 1 7 名
福祉サービス総合補償	9 件	9 団体 活動従事者 1 8 4 名
送迎サービス総合補償	3 件	2 団体 法定乗車定員数 4 2 名
事故対応件数	行事用保険 / 物損事故 / 請求 1 件	補償外 0 件
	福祉サービス総合補償 / 傷害事故 / 請求 1 件	

3. 各種団体、施設等との連携による情報共有と課題解決に向けた協議

①ボランティアアドバイザー連絡会

ボランティアアドバイザーとしてふれあいフェスティバル実行委員会へ参画し、同フェスティバルにおいてボランティア啓発・相談ブースを出展し、ボランティア活動の啓発を行いました。

登録ボランティアアドバイザー数	3 名
-----------------	-----

②福祉協力校連絡会

福祉協力校間の情報共有を図り、福祉教育活動を推進するための連絡会を開催しました。

連絡会	第1回 6月27日(木) 実施 参加17校 第2回 2月27日(木) 中止(新型コロナウイルス感染防止) 福祉協力校(小学校14校・中学校5校・高等学校1校)
-----	---

③ふれあいフェスティバルの開催

ボランティアセンター運営委員会メンバーを含む実行委員会を立ち上げ、ボランティア活動を含む地域福祉活動の啓発や住民同士のつながりの場として開催することで、多くの住民にボランティア活動等について周知することができました。

協力ボランティア団体	ブース出展団体28団体、ステージ発表団体12団体 パネル出展団体31団体
個人ボランティア数	事前説明会 11月14日(木) 前日準備 11月29日(金) 参加者10名 ふれあいフェスティバル 11月30日(土) 参加者87名
内容	ボランティアグループ活動発表、ブース出展、パネル展示、スタンプラリー、共同募金模擬店、各種体験等

4. 災害、防災への取り組み

①災害ボランティアセンター運営体制の充実強化

災害ボランティアセンターの運営体制の充実強化のため、先進地視察等研修を行い、災害ボランティア設置運営マニュアルの改正を行いました。また、災害時ボランティア活動推進基盤整備助成(三重ボランティア基金)を活用し、炊き出しセット(デリバリーステーション)を1台設置しました。

視察・研修	11月6日(水) 鈴鹿市災害ボランティアセンター(鈴鹿市)
	1月16日(木) 現地協働プラットフォーム研修(伊勢市)

②名張市や関係機関との連携強化

令和元年12月5日(木)名張市青年会議所、名張商工会議所青年部、名張市、当会の4者において災害時のボランティアセンターの協力体制について協定を締結しました。

5. 福祉まちづくりセンター事業

1. 相談、活動支援

①ボランティアコーディネーターによる相談、活動支援

福祉まちづくりセンターはショッピングセンターリバーナ3階に設置をし、夜間は19時、土日祝も開設することにより、ボランティア相談やボランティア活動保険の加入、助成事業の申込など住民の利便性を高めることができました。

相談実績(相談区分と件数)

ボランティア 相談区分	新規	継続	延べ	ボランティア以外 相談区分	新規	継続	延べ
ボランティア依頼	87	260	347	情報提供等	125	37	162
ボランティア希望	19	5	24	社協事業問合せ	701	261	962
活動支援	186	71	257	受付(申込等)	294	21	315
情報提供	8	1	9	問合せ(軽微なもの)	192	26	218
情報発信	7	0	7	助成受付	14	2	16
その他	14	2	16	その他	134	7	141
計	321	339	660	計	1,460	354	1,814
				窓口利用者数		1,232	

②会議室等利用実績

利用件数	利用団体	利用者数
127件	80団体	850人

③イベント企画を通じたボランティア団体等の参画促進

活動者のみならず、広く住民に周知しボランティア活動にふれてもらうため、遊び感覚で参加できるイベントを実施し、センターやボランティア活動の周知に努めました。

イベント開催回数	参加延人数(協力者含む)
336回	3,209人

④イベント等ボランティア活動の場づくり事業

福祉まちづくりセンターコラボレーション事業として、ボランティア団体等と協働でイベントを実施しました。

開催日	イベント内容	参加数
5月1日(水)	ペットボトルでつくるミニ水族館	22名
5月3日(金)	親子で手形アートをつくろう!	9名
5月4日(土)	ボランティアと一緒に折り紙を折ろう	21名
7月21日(日)	切り紙を楽しもう!	11名
9月28日(土)	じぶんだけの世界 盆栽をつくろう	9名
12月7日(土)	パラスポーツを体験しよう	41名
12月22日(日)	おもちゃ図書館&おもちゃばこ合同クリスマス会	27名
1月25日(土)	ねずみのストラップづくり	21名
1月25日(土)	わたがしプレゼント	15名
2月9日(日)	かみしばい&マジック	30名
2月23日(日)	おひなさまのプレートづくり	45名
3月22日(日)	おもちつき	中止

2. 広報啓発

福まち新聞	月2回(1日、15日) Vol. 115~136
情報発信、啓発 (随時)	・ホームページやフェイスブック、ツイッター ・地域の広報紙やボランティアに関するチラシ等の設置

	・イオン名張店1階名張忍ラウンジでの掲示や館内放送の利用 ・イオン1階レジ後ろのサッカー台にイベント予定表の設置 ・センターフロア内にボランティア活動団体紹介のパネル展示 ・なばボラネットの活用
--	--

3. 人材育成

①地域福祉担い手養成事業の実施

「地域で何か人のために活動してみたい」と考えている方、これから地域福祉活動を始めようと考えている方、現在、市内各地域で地域福祉に取り組んでいただいている方を対象に養成講座を開催しました。

実施講座	内容
生活支援員&傾聴ボランティア養成講座	第1回 10月9日(水) 第2回 10月10日(木) 第3回 10月16日(水) 第4回 10月23日(水) 受講者18名(うち、生活支援員登録者8名、傾聴ボランティア活動希望者10名)
傾聴ボランティアフォローアップ研修	傾聴ボランティア施設体験 11月14日(木)～11月26日(火) 選択実習参加者20人 傾聴ボランティア交流会 12月17日(火) 参加者 22人
スクエアステップ教室	4月～3月(全19回) 毎月第2・4水曜日 延べ参加者353名

②子育て支援員養成研修の実施

こども支援センターかがやきと連携し、子育て支援や働く女性のための支援活動を実施しました。

実施講座	内容
子育て支援員研修	6月3日(月)～7月11日(木) 10日間 参加者60名

4. 地域福祉教育

①子どもたちへのボランティア活動機会の提供

社会福祉施設を利用している方や職員と共に、交流を深め、子どもたちがボランティア活動へ参画するためのきっかけづくりを提供しました。

ふれあい隊	昭和保育園 8月19日(月)・8月20日(火) 参加者3名
-------	-------------------------------

②福祉体験(出前講座)の実施

児童・生徒に各種体験学習を出前講座として実施し、障がい者等への気づきや理解を深めるとともに児童・生徒が自らの生活の中でできることを考える場を提供することができました。

9月26日(木)～27日(金)	名張中学校 1年生 車イス・アイマスク体験
10月28日(月)	名張小学校 4年生 車イス・アイマスク・白杖体験
2月10日(月)	箕曲小学校 4年生 車イス・高齢者疑似・アイマスク・白杖体験

5. 交流活動

①おもちゃ図書館サロン事業「おもちゃばこ」の開催

おもちゃばこ	第2・4日曜日(保護者153名 子ども168名)
--------	--------------------------

②家族介護者の会「楓の会」共催による事業実施

さくら喫茶	毎月1回(計10回) 参加者71名
介護者のつどい	3月6日(金) コロナウイルスのため中止

③市内障害者福祉施設等による「福祉のおみせ」の出店支援

出店団体	名張育成園ういず、Kobo れもんぐらす(令和元年6月から休止)、アガペの家(令和元年7月から休止)
------	--

6. 福祉団体等当事者活動支援

1. 福祉団体等との連携・協働の強化、当事者活動支援

①福祉団体の自立運営支援と協働

各福祉団体(老人クラブ連合会、身体障害者互助会、遺族連合会、保護司会)との「事務に関する覚書」を本年度も締結し、団体運営に必要な事務補助や各会議の日程調整等各福祉団体と連携した支援により、各団体活動が円滑に実施することができました。

②家族会等の活動支援

ア. 家族介護者の会「楓の会」運営支援

家族介護者の会「楓の会」事務局運営支援とともに「さくら喫茶」や「介護者のつどい」を共催で行いました。

イ. 精神障害者家族会「なばるの会」との連携

家族会との連携を図るため、毎月1回定例会に出席し情報提供や活動支援に取り組みました。

ウ. 障害者スポーツ大会実行委員会事務局運営支援

3障がい(知的・精神・身体)を代表する団体が主体となり関係機関・団体等が参画して組織する「障害者スポーツ大会実行委員会」の事務局として、大会運営の支援を行いました。

9月28日(土)	参加者344名、実行委員・協力者等118名 実行委員会の開催(4回)
----------	---------------------------------------

③追悼式開催支援

各地域づくり組織や地区遺族会主催における追悼式開催へ助成を行いました。(10地区)

④交流活動

おもちゃ図書館の運営

開館日数	173日
利用者数	811名(大人344名、子ども524名) 初来館 27組
協力ボランティア	1名(活動日数 128日)

2. 社会福祉協議会組織構成会員の増強

社協会費実績	6, 105, 969円
組織構成会員	第1種～第8種 190団体
地域づくり組織活動助成金	2, 950, 460円

3. 共同募金配分事業、歳末たすけあい運動配分事業

①名張市共同募金委員会の運営

住民参画による共同募金運動をすすめるため、名張市共同募金委員会を開催し事業を展開しました。

運営委員会	委員10名 開催5回、 監事2名 監査1回
-------	-----------------------

②共同募金運動の展開

ア. 地域づくり組織とともに、戸別募金への協力と活用周知

各地域づくり組織の会合等において、募金協力依頼と活用についての説明を行い、理解と協力をお願いしました。

イ. 法人募金の協力拡大

新たな企業への依頼や、毎年依頼している企業への訪問を積極的行いました。また、伊賀タウン情報紙ユーより、法人募金の依頼訪問をしていただきました。

	件数	募金額
昨年度より増額してご協力いただいた企業	19件	274,000円

ウ. 共同募金実績 9, 331, 255円

募金の種類	実施、協力依頼等の内容
戸別募金	1世帯あたり500円を目安に、全世帯に協力を依頼
街頭募金	市内スーパー等14店舗にて30ヵ所実施（協力164人）
法人募金	市内の企業等へ依頼（依頼283法人、協力113法人）
学校募金	小学校14校、中学校5校、高校2校、高等専門学校1校
職域募金	市や小中学校をはじめ、市内の社会福祉法人や企業等の職員へ依頼（依頼36職域、協力32職域）
イベント募金	イベントでの募金箱設置や模擬店による啓発（10ヵ所20日間）
個人募金	個人での協力や、バッジ等の共同募金啓発グッズ、募金機能付き自動販売機やマッサージ機利用による募金並びに、ボランティア活動の場や店舗・市役所等への募金箱設置（協力69件）
UMOU募金	主に市内から羽毛製品の回収24点

エ. 歳末たすけあい募金実績 2, 890, 303円

募金の種類	実施、協力依頼等の内容
戸別募金	1世帯あたり100円を目安に、全世帯に協力を依頼
個人募金	名張市仏教会様、他2件より寄附

オ．三重の赤い羽根募金百貨店プロジェクト

本年度より名張市において、三重の赤い羽根募金百貨店プロジェクトを開始しました。参加企業から地域住民へ寄附付商品を提供し、収益の一部を募金していただきました。企業参加に伴い7月17日（水）、総合福祉センターふれあいにおいて覚書調印式を行いました。

参加企業	寄附付商品内容	募金額
4 企業	食事代や宴会代の収益の一部を寄附	4 1, 3 4 0 円

カ．災害義援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受付を行い、三重県共同募金会を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付期間	本年度送金額
平成28年熊本地震義援金	H28. 4. 15～R3. 3. 31	3 6, 8 5 4 円
北海道胆振東部地震災害義援金	H30. 9. 12～R2. 3. 31	3 1, 2 3 9 円
令和元年台風15号災害義援金	R1. 9. 17 ～R2. 6. 30	1 5 1, 4 7 1 円

③助成事業を通じた活動支援

ア．地域福祉活動助成事業の実施

各財源に基づく委員会等での審査・決定により、地域福祉活動団体への活動助成を通じ、支援を行いました。平成30年度の募金運動実績に基づき本年度7, 0 3 9, 7 7 5 円の配分を受け、地域福祉活動への助成支援並びに市社協事業に活用しました。

助成内容	金 額
地域づくり組織が取り組む福祉活動	1, 2 5 0, 8 5 0 円
地域福祉活動助成事業	5, 3 2 1, 2 0 0 円
市社協事業	4 6 7, 7 2 5 円

地域福祉活動助成事業

事業名	助成額	財源
地域見守り配食事業	1, 0 5 1, 2 0 0 円	共同募金配分金（7 件）
	4 3 4, 8 0 0 円	善意銀行寄付金（2 件）
地域見守り事業	2, 5 3 5, 0 0 0 円	共同募金配分金（8 0 件）
ひとり暮らし高齢者のつどい事業	1 9 9, 5 0 0 円	補助金（9 件）
ボランティア活動事業	1, 2 4 0, 0 0 0 円	共同募金配分金（3 4 件）
福祉協力校活動事業	4 9 5, 0 0 0 円	共同募金配分金（2 0 件）
イベント開催事業	2 0 0, 0 0 0 円	社協会費（2 件）
福祉活動備品整備事業	1, 0 0 0, 0 0 0 円	善意銀行寄付金（2 件）
当事者・家族会活動事業	1 5 0, 0 0 0 円	善意銀行寄付金（6 件）

イ．歳末たすけあい運動配分事業

本年度は2, 8 9 0, 3 0 3 円の募金協力と配分を受け、歳末たすけあい運動配分事業及び広報啓発事業への活用として全額配分しました。

4. 善意銀行事業

①適正な運用管理

住民からの寄附を受け効果的に配分・活用することを目的として、善意銀行の運営を行いました。

ア. 名張市善意銀行運営委員会

6月 4日(火)	平成 30 年度寄附の受領実績と配分について 平成 30 年度地域福祉活動助成事業にかかる完了の認定について 令和元年度事業計画(補正案)について 令和元年度地域福祉活動助成事業にかかる審査について
9月20日 (金)	令和元年度寄附状況と配分(支出)状況について 令和元年度事業計画(第2次補正案)について 令和元年度地域福祉活動助成事業にかかる審査について
3月17日(火)	令和元年度寄附状況と配分(支出)状況について 令和2年度事業計画(案)について

イ. 寄附受領実績

種 別	件 数	金 額・物 品
現金の寄附	19件	1,084,749円
物品の寄附	1件	車いす2台

②計画的な運用

事業内容	金 額	備 考
(1)罹災者救援要綱に基づく見舞金	60,000円	火事見舞(全焼)3件
(2)地域見守り配食事業	434,800円	2団体
(3)福祉活動備品整備事業	1,000,000円	2団体
(4)当事者・家族会活動事業	150,000円	6団体
(5)車イス一時貸出事業	99,000円	修理、部品交換2台 消毒20台
(6)指定寄附	100,000円	1施設
計	1,843,800円	

5. 日本赤十字社名張市地区事業

①赤十字運動月間における赤十字活動の周知と活動資金の募集

日本赤十字社の人道的諸活動を行うための活動財源として、地域づくり組織を通して、全世帯を対象に一世帯あたり500円を目安にお願いしました。

日赤活動資金の実績

活動資金の内容	金 額
各世帯	6,517,887円
法 人	552,000円
個人・寄附箱	41,118円
合 計	7,111,005円

②活動資金募集にかかる地域づくり組織への協力依頼

4月から6月にかけて15地域の会合に出向き、年間通じて取り組む各種資金募集への協力を依頼しました。

③地域づくり組織への福祉活動助成、講習会開催の促進

地域づくり組織における福祉活動支援として、日赤交付金より651,760円を助成しました。また、市内のさまざまなイベントの開催に際し、日本赤十字社三重県支部より救護要員の派遣を4回、赤十字講習会の講師派遣を8回行いました。

④災害義援金の呼びかけ、受付

災害支援のため、市役所等への募金箱設置や義援金の受付を行い、日本赤十字社を通じて送金し、被災地支援に取り組みました。

災害名	受付期間	本年度送金額
東日本大震災義援金	H23.3.14～R3.3.31	97,187円
平成30年7月豪雨災害義援金	H30.7.10～R1.6.30	91,124円
令和元年8月豪雨災害義援金	R1.9.2.～R2.8.31	131,967円
令和元年台風第19号災害義援金	R1.10.16～R3.3.31	336,595円

6. 名張市社会福祉協議会窓口サービスの向上

社協に寄せられるさまざまな問合せや相談等に対応し、窓口サービスの向上に努めました。

①地域福祉活動支援備品の貸出

地域福祉活動を支援するため、活動に役立つ各種備品を貸出しました。

貸出件数	555件 プロジェクターや模擬店機材等(374件) 地域福祉教育備品(18件)、楽器等(163件)
利用団体数	延べ131団体

②車イス無料貸出事業

市民団体や企業等から寄贈いただいた車イスを、名張市にお住まいでケガ等により一時的に必要とされる方への支援として延べ100件貸出をしました。

使用目的	貸出件数
通院や通学のため	27件
買物等行楽のため	54件
自宅内での移動のため	19件

ウ. なばり暮らしあんしんセンター

1. 福祉サービス利用援助事業

1. 日常生活自立支援事業

なばり日常生活自立支援センターの相談件数は、前年度比38件減少しましたが、新規契約の締結は13件、実利用人数は4名増加し67名になりました。契約終了件数については9件で、後見人等への引継ぎは2件、次いで転居1件・施設入所1件・死亡1件、病気による長期入院1

件となっています。

成年後見事業を始め、市内関係機関と連携し切れ目のない権利擁護支援に取り組みました。

①相談援助件数等

事項/対象者	認知症 高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他	合計
問合わせ件数	0	1	1	2	4
初回相談件数	21	8	13	4	46
相談援助件数	1,038	2,263	1,766	249	5,316
契約締結件数	5	2	6	0	13
終了件数	3	5	1	0	9
実利用人数 (令和元年度末)	13	25	27	2	67

実利用者数の推移

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (平成31年度)
実利用者数	56	64	59	63	67

②生活支援員活動の推進

生活支援員 担当件数	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	合計
	12	24	26	2	64
活動者22名(登録者24名、うち新規4名) 生活支援員による支援 64件/67件 支援員対応率95%					

③「地域福祉」担い手養成研修 ～生活支援員養成講座～ の開催

福祉まちづくりセンター事業と合わせて「生活支援員&傾聴ボランティア養成講座」を開催しました。

講座日程	10月9日(水)、10月10日(木)、10月16日(水)、10月23日(水) 受講者数8名、生活支援員登録者数8名
------	--

④生活支援員定例会と研修会の開催

現在活動中の生活支援員を対象に、定例会と研修を行いました。

第1回 9月11日(水)	・施設見学 「ばとな」障害者福祉サービス事業所 就労継続支援A型
第2回 10月30日(水)	・全国権利擁護支援ネットワーク 権利擁護支援従事者研修 ～権利擁護支援ニーズへの対応～
第3回 3月26日(木)	・「発達障害について」 上野病院 岸本 光一先生 ※コロナウイルス感染拡大防止のため、中止しました。

2. 関係機関等との連携

①関係機関との連携

契約締結審査会のほか、権利擁護に関する各種協議会、連絡会等において、関係機関との情報共有や支援連携を実施しました。

会議等への参画	・三重県社協日常生活自立支援事業契約締結審査会（毎月） ・地域ケア会議、カンファレンスへの参加（４２回）
---------	---

②資質向上にむけた研修会等への参加

研修会への参加	・成年後見制度本人情報収集シートの書き方研修（6/12） ・けんりようご・ねっと奈良勉強会「家族信託について」（9/17） ・虐待研修（9/25） ・虐待防止研修ケース検討会（11/13） ・災害ボランティアシンポジウム（11/17） ・東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会（11/28） ・日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅱ（1/29～31）
---------	---

2. 成年後見事業

1. 法人後見事業の運営

①法人後見等の受任

親族関係や経済的な理由等により適切な後見人等を得られない方々に対して、法人が後見の受任をし、財産管理や身上保護を行うことで、安心して生活ができるよう支援をしました。

（令和元年度受任件数：後見３件、保佐３件）

支援実績	来所	訪問	電話	合計
後見（３件）	１１	１１５	２９９	４２５
保佐（３件）	２３	１２０	３２５	４６８

※被後見人１名は８月に死亡により支援を終了しています。

※被保佐人１名を３月に受任（保佐人交代）しています。

②法人後見受任委員会の開催

法人後見受任の検討や適切な法人後見業務の実施のため、法人後見受任委員会を市内外の法律関係者、学識経験者、民生委員・児童委員、名張市等の参画のもと４回開催しました。

開催回数・日程	検討項目
第 31 回 6 月 5 日(水)	1. 法人後見受任者の経過報告と支援計画について 2. 成年後見人等候補者就任審査
第 32 回 8 月 30 日(金)	
第 33 回 12 月 6 日(金)	
第 34 回 2 月 25 日(火)	

③研修等への参加による職員の資質の向上

研修等に参加し、専門的知識を深め支援の質の向上に努めました。

研修会への参加	・けんりようご・ねっと奈良勉強会 「行政による死後事務支援～横須賀市の「エンディングサポート事業」「私の終活登録事業」の取組みについて」（7/23） ・成年後見制度利用促進体制整備研修（基礎研修）（11/25～27） ・けんりようご・ねっと奈良勉強会 「お金がない方の身元保証と成年後見を考える」（12/6） ・社会福祉士実習指導者講習会（12/21～22）
---------	--

④法人後見支援員の育成・支援

被後見人等の居所訪問を行う法人後見支援員を育成し、法人の強みである身上保護面の対応を中心に法律関係者等と連携して法人後見業務に取り組みました。

(法人後見支援員数：5名／担当件数5件)

2. 名張市における法人後見受任体制のあり方検討

名張市では第三者後見人（担い手）不足が深刻なことから、法人後見の特性である複数人体制で、その人らしく地域で生活できるよう、特に意思決定支援・身上保護面を重視した後見活動ができる体制づくりの検討を行いました。法人後見専門員の専門性向上にとどまらず、法人後見支援員の候補者育成、価値・知識・技術の向上を図るため研修に参加しました。

日 程	活 動 内 容
10月30日(水)	全国権利擁護支援ネットワーク 権利擁護支援従事者研修 参加者：15名（生活支援員13名、専門員2名）
1月21日(火)～ 23日(木)	成年後見制度利用促進体制整備研修（応用研修）
2月15日(土)	全国権利擁護支援ネットワーク 全国フォーラム 参加者：5名（法人後見支援員候補者4名、専門員1名）

3. 相談支援体制の強化

関係機関等と情報、支援方針を共有し、チーム支援に取り組む体制強化を推進しました。

地域ケア会議等関係機関との協議	・伊賀地域福祉後見サポートセンター (運営委員会4回、名張市地域包括支援センターとの情報交換会12回) ・津家庭裁判所伊賀支部との意見交換会 ・地域ケア会議、カンファレンスへの参加7回
-----------------	--

4. 権利擁護に関する総合相談

関係機関と連携しながら、成年後見制度の申立や高齢者や障害者及びその家族からの先々の生活不安への相談等に関する相談支援を行いました。

相談・対象区分	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	合計
新規相談	4	2	0	0	6
継続相談	11	7	0	0	18
問合せ	1	4	0	1	6

3. 生活困窮者自立支援事業

仕事、金銭、健康及び家族に関する問題など、様々な困りごとを抱える生活困窮者に対して、包括的かつ継続的な支援を実施しました。課題を整理し、本人とともに目標や具体的な支援プランを作成し、自立に向けて、伴走型の支援を行いました。また、生活保護受給者に対する支援を実施することで、生活保護制度と横断的な支援が可能となり、切れ目のない一体的な支援を行いました。

本年度は特に、民生委員・児童委員、まちの保健室職員との連携強化を図るため自立相談支援事業に対する事業啓発・情報提供を行いました。

1. 相談支援体制の基盤強化

生活困窮者自立支援事業の専門相談員の確保を図るとともに、相談援助職として必要となる知識・技術等の向上のため、研修会に参加し、相談員の資質向上を図りました。

また、社協が持つ日常生活自立支援事業や福祉資金貸付事業、居宅介護支援事業等との連携を図るとともに、市内社会福祉法人をはじめとする地域のネットワークを活用し、支援体制の基盤強化を図りました。

研修会への参加	・生活困窮者自立支援制度研修会（5/23） ・生活困窮者相談事例検討会（8/21） ・自立相談支援事業従事者養成研修（9/2～4、11/13～15） ・就労準備支援事業従事者養成研修（10/7～10/9） ・生活困窮者自立支援全国研究交流大会（11/2～4） ・家計改善支援事業従事者研修（11/22） ・生活困窮者自立支援事業研修会（2/6）
---------	--

2. 必要な方へ必要な情報を届けるための周知啓発

生活困窮者自立支援事業に関する事業啓発を民生委員・児童委員、まちの保健室職員に向けて行い、連携方法等について協議しました。

周知啓発の取組み （地区民児協）	・比奈知地区 1/18 ・美旗、箕曲地区 1/25 ・くにつつじ地区 2/17 ・名張地区 2/21
---------------------	---

3. みえ福祉の「わ」創造事業 食糧提供支援等実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急食糧提供事業	7	3	5	5	6	6	4	3	7	2	2	4	54
緊急時物品等支援事業	0	0	0	2	2	0	0	0	2	3	0	1	10
合 計	7	3	5	7	8	6	4	3	9	5	2	5	64

4. 三重県居住支援連絡会への参画

三重県あんしん賃貸支援事業実施要領に基づき、名張市とともに、居住支援団体として三重県に登録し、三重県居住支援連絡会の活動に参画しました。

2月1日(土)	名張市主催「すまいの活用相談会」にてブース出展協力
---------	---------------------------

5. 自立相談支援事業

一人ひとりに寄り添った丁寧なインテークを行ってきました。本人とともに課題を整理し、プランを作成することにより、自立に向けた支援を実施しました。

①相談件数(延べ件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	96	116	116	125	148	103	156	142	142	119	144	204	1,611
訪問	42	44	55	27	29	25	28	22	29	31	26	27	385
来所	68	44	41	74	63	60	51	39	49	58	51	62	660
合計	206	204	212	226	240	188	235	203	220	208	221	293	2,656

②支援調整会議の開催

支援内容を検討し、支援の可否を判断するとともに、地域における課題の共有と改善を目的として、関係機関と支援調整会議を原則月1回開催しました。

支援決定件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	3	3	4	5	5	4	5	2	2	9	3	4	49
評価 再プラン	0	3	3	3	1	5	4	1	4	3	10	4	41
モニタリング 検討	1	0	1	2	2	0	3	1	1	0	1	1	13
報告・終結	4	3	1	2	2	3	2	6	6	2	2	5	38
合 計	8	9	9	12	10	12	14	10	13	14	16	14	141

③生活保護受給者等就労自立促進事業の実施

離職者等に対し、生活保護に至る前の段階で就労支援等を実施しました。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	就職率
男性	1名	0名	0名	0名	1名	1名	67%
女性	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0%

6. 就労準備支援事業／被保護者就労準備支援事業

すぐには就労することが困難な生活困窮者及び生活保護受給者に対し、以下の支援を段階的に実施しました。ニーズに応じた段階的な支援メニューを提供することにより、一人ひとりに寄り添ったきめ細かな支援を実施することができました。

①支援実施状況

- ・就労に向けて生活習慣の改善等を促す生活自立支援
- ・コミュニケーション能力や社会参加能力を養う社会自立支援
- ・就労に関するスキルやマナーを習得する等の就労自立支援

ア. 就労準備支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	7	14	3	3	2	10	9	2	8	10	10	4	82
訪問	0	2	2	1	0	2	1	0	0	1	1	0	10
来所	4	5	1	8	4	9	6	4	3	6	5	9	64
体験	12	4	3	4	5	8	4	9	9	12	11	0	81
その他	7	4	5	1	3	3	4	1	6	5	4	4	47
合計	30	29	14	17	14	32	24	16	26	34	31	17	284

※体験には見学も含む

イ. 被保護者就労準備支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	0	5	8	7	0	0	3	0	3	0	2	2	30
訪問	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
来所	0	0	0	3	0	0	1	1	0	0	0	3	8
体験	15	20	20	11	16	12	13	16	11	8	14	0	156
その他	0	0	0	0	0	2	4	2	0	0	0	2	10
合計	16	25	28	21	16	14	21	19	14	8	16	7	205

※体験には見学も含む

②協力事業所における就労体験

地域内にある事業所の協力を得て、各事業所で行う業務の一部を継続的な就労体験の場として提供しました。事業所における実際の業務を体験することで、就労に向けての経験を積めるよう支援を行いました。

支援実施状況（延べ件数）

事業所名	体験	見学	事業所名	体験	見学
隠おたがいさん	0	0	ASA ネットワーク桔梗が丘西部	0	0
あぐりの杜	0	0	NPO 法人アガペの家	216	3
特別養護老人ホーム国津園	0	0	株式会社ユー	18	0
名張特別養護老人ホーム	11	0	レインボークラブ	0	1
協力事業所 合計 8事業所				245	4

7. 家計改善支援事業（旧家計相談支援事業）

①家計再生のための分析や再建プランの提案

公共料金や家賃の支払いが計画的に行えない等、家計に関する生活課題を抱えている生活困窮者に対して、家計支援の視点から、自立に向けての支援を実施しました。生活困窮者本人が家計の現状を理解し、改善方法を考え、将来にわたって家計管理ができるよう、支援を実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
提案件数	1	1	0	0	1	1	1	0	0	1	2	0	8

②債務整理に関する支援

弁護士相談への同行支援や東海財務局多重債務相談窓口などの専門機関から助言を得て、債務整理に関する支援を行いました。また、多重債務に至った背景に目を向け、これまでの家計管理を見直し、生活再建に向けた支援を実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援件数	2	1	1	3	1	3	0	1	0	0	0	2	14

③貸付の斡旋

離職等により一時的に生活を維持することが困難となった生活困窮者に対し、就労支援と家計改善支援を併用し、再就職後の初回給与までのつなぎ資金を斡旋する等、貸付を利用することで、効果的な自立支援を実施しました。また、「貧困の連鎖」を防ぐため、子どもの教育の

機会を重視し、教育支援資金の斡旋も積極的に行いました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
斡旋件数	10	5	3	5	4	9	6	7	8	4	3	11	75

④支援実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	21	29	30	22	24	26	17	19	9	14	5	11	227
訪問	10	16	17	7	8	6	3	2	4	5	2	1	81
来所	5	2	12	3	2	4	0	5	2	3	2	5	45
その他	3	3	6	3	1	5	5	2	0	1	0	2	31
合計	39	50	65	35	35	41	25	28	15	23	9	19	384

8. 被保護者就労支援事業

①切れ目のない一体的な支援

生活保護受給者に対する就労支援を生活困窮者に対する就労支援と一体的に行うことで、切れ目のない一貫した支援を継続的に実施しました。

相談件数（延べ件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	0	0	0	0	0	0	4	1	7	3	0	0	15
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
来所	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	2	1	6
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	3
合計	0	0	1	1	0	0	5	1	8	6	3	1	26

②稼働能力判定会議の開催

自立相談支援事業における支援調整会議と一体的に運営することで、情報の共有も容易になり、両事業で連携した支援が可能となりました。

支援決定	7月 4件、10月 2件、1月 1件、3月 3件	合計 10件
その他・協議	7月 7件、9月 2件、10月 5件、11月 3件、 12月 3件、3月 8件	合計 28件

4. 生活福祉資金等貸付事業

生活困窮者が社会生活を営むなかで、不時の出費を必要とする場合に、社会の一員として円滑な社会生活が送れるよう、民生委員・児童委員や名張市社会福祉事務所、三重県社協と連携した貸付事業を行いました。

1. 地域福祉金庫貸付事業

地域福祉金庫貸付事業

生活困窮者等に対して、3万円を上限とした緊急的な貸付支援を行い、社会生活が送れるように自立相談・償還指導を行いました。また、生活保護受給者（申請中含む）に対しては、効果的な貸付けを行うため社会福祉事務所との連携を図りました。

貸付相談件数（延数）	1 2 8 件
貸付金額	1, 1 9 6, 0 0 0 円 （ 5 4 件）
償還額	1, 2 0 5, 5 0 0 円 （ 5 9 件）
未償還額（過年度分含む）	1, 1 2 4, 0 0 0 円 （ 5 2 件）

2. 生活福祉資金貸付事業

障害者世帯・高齢者世帯・低所得世帯に対して、低利または無利子での資金の貸付と必要な援助指導を行う事により経済的自立や生活意欲の助長促進を図りました。

近年、複合的な生活課題を抱え、相談される方が多く、生活困窮者自立支援事業と連携し自立に向けた支援や社会参加を図ることができました。

①相談及び貸付内容

資金の種類		相談件数(延数)	貸付件数	貸付金額
総合支援資金		1 9	0	0 円
福祉資金	療養費・介護費	1 6	0	0 円
	福祉費	1 1 2	3	3 2 8, 0 0 0 円
	福祉費(住宅)	3 4	4	2, 3 6 5, 0 0 0 円
	障害者自動車購入費	3 1	0	0 円
	生業費	3 1	1	5 6 1, 0 0 0 円
	技能習得費	1 6	1	4 2 0, 0 0 0 円
	緊急小口資金	8 8	3	2 5 0, 0 0 0 円
教育支援資金		1 2 1	7	6, 6 3 3, 0 0 0 円
不動産担保型生活資金		1 9	0	0 円
その他		1 0	1	1 0 0, 0 0 0 円
合 計		4 9 7	2 0	1 0, 6 5 7, 0 0 0 円

②長期滞納者面談

件数	8 件
----	-----

Ⅱ 【在宅福祉サービス拠点】【老人福祉センター「ふれあい」拠点】

(介護支援課)

介護支援課が担当する「在宅福祉サービス拠点部門」と「老人福祉センター「ふれあい」拠点部門」は、介護保険制度における「老人デイサービス事業」「居宅介護支援事業」「老人福祉センター事業（介護予防事業含む）」の３つの事業で構成され、高齢者の生きがい活動から、医療介護が連携して在宅生活を支援する在宅介護事業を担当しています。

１．各事業の実績

令和元年度については、『中重度ケア+自立支援介護・重度化防止ケアの推進』を重点課題として、各事業ともに専門性の向上と機能訓練（リハビリテーション）ニーズへの対応について介護支援課全体で体制整備に努めました。

重点目標	事業実績																																				
1. 経営目標の達成 (事業実績)	（１）老人デイサービス事業																																				
	従来「中重度ケア（要介護３以上）」の方を積極的に受け入れ、看護職との連携によりサービスを提供し、デイサービスにおいては要介護３以上の方が30%以上利用されている事業所が算定できる「中重度ケア体制加算」を取得し、看護職とのチームケアによりサービス提供をしてきましたが、今年度からは要望の多い機能訓練（リハビリテーション）ニーズにも対応するため、外部の理学療法士とも連携しながら、機能訓練メニューの提供を図りました。																																				
	【介護給付（要介護１～５）の方へのサービス提供実績】																																				
	<table><tr><th></th><th>2019 年度</th><th>2018 年度</th></tr><tr><td>開設日</td><td>3 1 0 日</td><td>3 0 5 日</td></tr><tr><td>実利用者数（年）</td><td>6 9 4 人</td><td>6 6 5 人</td></tr><tr><td>（月平均）</td><td>5 7 . 8 人</td><td>5 5 . 4 人</td></tr><tr><td>延利用者数（年）</td><td>6 , 2 1 9 人</td><td>6 , 7 5 5 人</td></tr><tr><td>（月平均）</td><td>5 1 8 . 3 人</td><td>5 6 2 . 9 人</td></tr><tr><td>（日平均）</td><td>2 0 . 1 人</td><td>2 2 . 1 人</td></tr><tr><td>要介護３以上割合</td><td>5 4 . 0 %</td><td>5 6 . 7 %</td></tr><tr><td>平均介護度</td><td>2 . 7 9</td><td>2 . 7 0</td></tr><tr><td>入浴介助加算</td><td>6 , 0 4 5 人</td><td>6 , 1 9 5 人</td></tr><tr><td>個別機能訓練Ⅰ加算</td><td>1 , 2 0 0 人</td><td>0 人</td></tr><tr><td>個別機能訓練Ⅱ加算</td><td>2 2 0 人</td><td>0 人</td></tr></table>		2019 年度	2018 年度	開設日	3 1 0 日	3 0 5 日	実利用者数（年）	6 9 4 人	6 6 5 人	（月平均）	5 7 . 8 人	5 5 . 4 人	延利用者数（年）	6 , 2 1 9 人	6 , 7 5 5 人	（月平均）	5 1 8 . 3 人	5 6 2 . 9 人	（日平均）	2 0 . 1 人	2 2 . 1 人	要介護３以上割合	5 4 . 0 %	5 6 . 7 %	平均介護度	2 . 7 9	2 . 7 0	入浴介助加算	6 , 0 4 5 人	6 , 1 9 5 人	個別機能訓練Ⅰ加算	1 , 2 0 0 人	0 人	個別機能訓練Ⅱ加算	2 2 0 人	0 人
		2019 年度	2018 年度																																		
	開設日	3 1 0 日	3 0 5 日																																		
	実利用者数（年）	6 9 4 人	6 6 5 人																																		
	（月平均）	5 7 . 8 人	5 5 . 4 人																																		
	延利用者数（年）	6 , 2 1 9 人	6 , 7 5 5 人																																		
	（月平均）	5 1 8 . 3 人	5 6 2 . 9 人																																		
	（日平均）	2 0 . 1 人	2 2 . 1 人																																		
	要介護３以上割合	5 4 . 0 %	5 6 . 7 %																																		
	平均介護度	2 . 7 9	2 . 7 0																																		
	入浴介助加算	6 , 0 4 5 人	6 , 1 9 5 人																																		
	個別機能訓練Ⅰ加算	1 , 2 0 0 人	0 人																																		
	個別機能訓練Ⅱ加算	2 2 0 人	0 人																																		
	【総合事業（要支援１～２）の方へのサービス提供実績】（３０５日）																																				
	<table><tr><th></th><th>2019 年度</th><th>2018 年度</th></tr><tr><td>実利用者数（年）</td><td>3 9 人</td><td>3 0 人</td></tr><tr><td>（月平均）</td><td>3 . 3 人</td><td>2 . 5 人</td></tr></table>		2019 年度	2018 年度	実利用者数（年）	3 9 人	3 0 人	（月平均）	3 . 3 人	2 . 5 人																											
		2019 年度	2018 年度																																		
実利用者数（年）	3 9 人	3 0 人																																			
（月平均）	3 . 3 人	2 . 5 人																																			

延利用者数（年）	198人	148人
（月平均）	16.5人	12.3人
（日平均）	0.64人	0.48人
運動器機能向上加算	79人	0人

【理学療法士との連携】

	2019年度	2018年度
生活機能向上連携加算	210人	0人

※従来のサービス提供時間（5～6時間）を（6～7時間）に延長し、機能訓練の実施と中重度者の方への入浴支援の両立を図りました。

※幅広いニーズに対応するため、介護福祉士の配置率（30%以上）を（50%以上）に高め、サービス提供強化加算の変更を行いました。

※専門職の処遇向上を図るため、従来の「介護職員処遇改善加算（2012年～）」に加え、今年度から新設された「介護職員等特定処遇改善加算」についても要件を整え算定しました。

※その他、利用者給食提供方法の見直し検討を行い、利用者の身体状況に合わせた多様な形態と嗜好に沿った提供方法を令和2年3月末より取り入れています。

（2）居宅介護支援事業

配置するすべての職員が主任介護支援専門員であり、名張市唯一の「特定事業所加算Ⅰ」を取得する事業所として、中重度の方はもちろんのこと、複雑な生活課題を抱える世帯支援についても積極的に関わり、社協の生活困窮者自立支援事業や成年後見事業、地域包括支援センターや医療機関と連携しながら、適正で質の高いケアマネジメントの提供に努めました。

【介護給付（要介護1～5）の方へのサービス提供実績】

	2019年度	2018年度
全体事業実績（延べ）	2,028件	2,127件
（月平均）	169件	177件
要介護3以上割合	41.6%	43.3%
特定事業所加算Ⅰ	10/12か月	12/12か月
特定事業所加算Ⅱ	2/12か月	0/12か月
平均介護度	2.41	2.42

【介護予防・総合事業（要支援1～2）の方へのサービス提供実績】

	2019年度	2018年度
全体事業実績（延べ）	136件	130件
（月平均）	11件	11件

【病院・老人保健施設との連携】

	2019 年度	2018 年度
入院時連携加算	5 8 件	6 7 件
退院退所加算	2 9 件	5 1 件
計	8 7 件	1 1 8 件

【ケアマネジャー一人当たりの担当ケース数】

	2019 年度	2018 年度
介護給付（月当たり）	2 8 . 2 件	2 7 . 8 件
介護予防（月当たり）	5 . 7 件	5 . 4 件
計	3 3 . 9 件	3 3 . 2 件

【休日・時間外対応状況】

	2019 年度	2018 年度
通常（8：30～17：30）	2 0 3 件	1 9 7 件
早朝（6：00～8：30）	6 2 件	4 0 件
夜間（17：30～22：00）	8 4 件	9 0 件
深夜（22：00～6：00）	8 件	5 件
計	3 5 7 件	3 3 2 件

※対応が困難なケースにも継続して対応できるよう、管理者・主任が同行訪問を行い、事業所全体で利用者を支援する体制に努めました。

※事業所の営業時間は月～金（8：30～17：30）ですが、24 時間 365 日相談対応できる体制をとり、適宜対応に努めました。

※地域包括支援センターから紹介された他の居宅介護支援事業所が受け入れ難いケースについても積極的に対応しました。

（3）老人福祉センター「ふれあい」

6 月から地区別利用日の指定が解除され、利用者数も増加傾向が続いていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和 2 年 3 月より休館となり、結果的には微増にとどまりました。

利用者の方がより安全に安心して利用できるよう、相談や見守り等を行い事故防止等に努めました。

【全体利用者数】 2019 年度月平均は、開館 11 か月で算出

	2019 年度	2018 年度
年間延べ利用者数	1 5 , 9 2 8 人	1 4 , 6 5 7 人
（月平均）	1 , 4 4 8 人	1 , 2 2 1 人
開館日数	2 7 2 日	2 9 9 日
浴室利用者数	9 , 2 9 8 人	8 , 5 7 9 人

カラオケ利用者数	2, 279人	2, 616人
福祉バス利用者数	6, 962人	7, 381人

※浴室・脱衣場を中心とした館内見守りの実施（30分毎）

【生きがい活動支援通所事業】

（イベント関係実績）

	2019 年度	2018 年度
ビリヤード大会	41人/3回	48人/4回
七夕カラオケ大会	61組	69組
新春カラオケ大会	60人	53組
計	162人	170人

※「ビリヤード大会」については、新型コロナウイルス感染症による休館により3月開催を中止しました。

（地域活動支援実績）

	2019 年度	2018 年度
名張地区高齢者の集い	45人	57人
名張地区カラオケ大会	59人	36人
計	104人	93人

（自主サークル活動）

	2019 年度	2018 年度
カラオケ教室	558人/21回	589人/23回
いきいき書道クラブ	93人/11回	104人/12回
レクリエーションサークル	61人/10回	68人/12回
ながつき友の会	71人/9回	60人/8回
ビリヤードサークル	75人/12回	291人/49回
計	858人	1, 112人

※「カラオケ教室」「いきいき書道クラブ」については、新型コロナウイルス感染症による休館により3月の実施はありませんでした。

※「ビリヤードサークル」については、年度途中より、サークルとしてではなく、誰もが来所したときに参加できるように実施形態を見直したことでの減少となっています。

【介護予防事業】

フレイル対策として、運動器機能の向上や体力づくり、認知症予防を目的に事業を実施しました。

	2019 年度	2018 年度
健康相談	755人	722人

	一般マシントレーニング教室	3, 125人	3, 475人
	スクエアステップ教室	810人	905人
	歯科衛生士による「歯科相談」	150人	80人
	ヘルスアップ教室	0人	43人
	計	4, 838人	5, 225人
※「一般マシントレーニング教室」は年間を6クールに分け、1クール7回のコースで実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止による休館により、3月分教室を中止しました。 ※「スクエアステップ教室」につきましても3月分教室を中止しました。 ※「ヘルスアップ教室」は3月開催予定であったことから実績なしとなっています。			

2. 適正な事業推進に向けた取り組み

1. 経営管理体制の整備	(1) 事業本部の機能強化		
	事業本部に係長を配置し、デイサービス事業と老人福祉センター事業の統括管理体制を整備し、両事業に配置した専門職の協働による機能訓練事業の実施に向けた調整と効率的な職員配置を行いました。		
	(2) 運営管理会議の開催		
	事業経営課題（サービス管理・職員管理・業績管理等）の共有と事業区分を越えて総合的な協議・対応に努めました。		
		開催日	主な事項
	第1回 (臨時)	4/10 (火)	・ 社協食堂への参画のあり方 ・ 働き方改革への対応
	第2回	4/23 (火)	・ 会長との意見交換 ・ H30 年度実績報告と決算について ・ 介護保険最新情報確認
	第3回	5/21 (火)	・ 4 月実績確認 ・ 職員配置と協力協働体制について ・ 各事業の自己点検・評価について
	第4回	6/25 (火)	・ 5 月実績確認 ・ 介護保険サービス事業者集団指導報告 ・ 要員計画と募集状況について ・ ICT 化に向けた取り組みについて
	第5回	7/23 (火)	・ 6 月実績確認 ・ 介護職員等特定処遇改善加算について ・ 要員計画と募集状況について

			・新システム導入について
第 6 回	8/27 (火)		・ 7 月実績確認 ・ 1 号補正予算について ・ 同一労働同一賃金について ・ 防犯対策について
第 7 回	9/26 (木)		・ 8 月実績について ・ 各事業の期末に向けた課題と対応について ・ 職員育成状況について ・ 同一労働同一賃金について
第 8 回	10/31 (木)		・ 9 月実績について ・ 事業所更新手続きについて ・ 新システム導入について
第 9 回	11/26 (火)		・ 10 月実績について ・ デイサービス給食提供方法の変更について ・ 避難確保計画について ・ 前期考課結果と各職員への面談状況について ・ 次年度の介護支援課課題について
第 1 0 回	12/24 (火)		・ 11 月実績について ・ 職員定着プロジェクトチーム会議について ・ 運営管理体制について
第 1 1 回	1/22 (水)		・ 12 月実績について ・ 4 月～12 月実績 (最終補正と当初予算の設計について) ・ 同一労働同一賃金の判断基準について
第 1 2 回	2/25 (火)		・ 1 月実績について ・ 最終補正・当初予算・事業計画について ・ 新型コロナウイルス感染症対応について
第 1 3 回	3/24 (火)		・ 2 月実績について ・ 当初予算・事業計画について ・ 新型コロナウイルス感染症対応について
(3) 管理者主任会議への開催 各事業所における個別課題の調整のために、課長・管理者・主任による会議を開催し、課題共有と課題への対応への適宜対応に努めました。			

		事業名	回数	
		老人デイサービス事業	1 1 回	
		居宅介護支援事業	1 3 回	
		老人福祉センター事業	9 回	
		(4) 各事業の定例会議		
	「利用者情報」「サービス提供内容」等の共有をはかりながら、質の高いサービスを標準的に提供するために、事業ごとに下記の会議を開催しました。			
		事業名	内 訳	回数
		老人デイサービス事業	・ 事業所全体会議	2 回
			・ 管理者・リーダー会議	1 3 回
			・ 介護員会議	4 回
			・ 看護師会議	1 0 回
			・ 機能訓練指導員会議	1 6 回
			・ 生活機能向上連携会議	1 2 回
			・ 給食のあり方検討会	4 回
	居宅介護支援事業	・ 定例会議	4 4 回	
	老人福祉センター事業	・ 全体会議	5 回	
		・ 機能訓練指導員会議	1 2 回	
		・ 生活機能向上連携会議	1 1 回	

2. 業務の標準化と効率化	(1) サービス向上検討委員会の開催		
	サービス向上及び介護事業推進における共通課題について、事業所の枠を超えて共有・検討する場を設け、よりよいサービス提供の取り組みに努めました。		
		開催日	主な事項
	第 1 回	4/23 (火)	・ 今年度の重点検討事項内容について ・ デイサービスにおける機能訓練について
	第 2 回	5/21 (火)	・ 機能訓練の効果的実施方法について ・ 職員状況について ・ 公用車運転に係る注意喚起について
	第 3 回	6/25 (火)	・ 要員計画と適正配置について ・ 機能訓練の実施方法について ・ 認知症施策推進大綱について
	第 4 回	7/23 (火)	・ 機能訓練実施状況と課題の確認 ・ 利用者満足度調査について

			・人材育成について
第 5 回	8/27 (火)		・機能訓練実施状況と課題の確認 ・利用者満足度調査について ・新システム導入と業務効率の向上について
第 6 回	9/26 (木)		・機能訓練の効果的実施方法について ・利用者確保策について ・事務効率化の取り組みについて
第 7 回	10/24 (木)		・新システム導入の課題について ・虐待予防研修会の実施について ・機能訓練の状況と今後の課題について
第 8 回	11/26 (火)		・事務効率化に向けた取り組みについて ・感染予防研修会の実施について ・利用者確保策について
第 9 回	12/25 (水)		・感染予防研修会の振り返りと対応策の徹底 ・次年度課題の整理
第 10 回	1/15 (水)		・次年度事業計画の検討 ・年間研修テーマの検討 ・実地指導への対応と日常業務の再確認
第 11 回	2/25 (火)		・次年度重点課題の整理 ・新型コロナウイルス感染症への対応について
第 12 回	3/25 (水)		第 4 回感染対策委員会と合同実施 (新型コロナウイルス感染症対策について)

(2) 感染対策委員会の実施（臨時開催分は③で記載）

	開催日	主な事項
第 1 回	6/25 (火)	・各事業所の感染対策実施状況について ・感染関係報告様式について ・食中毒予防啓発の実施について
第 2 回	9/26 (木)	・予防啓発について ・今年度の感染対策研修について ・情報共有のあり方について
第 3 回	12/11 (水)	感染予防研修会 名張市立病院感染管理室 城村裕一先生
第 4 回	3/25 (水)	・新型コロナウイルス感染症対策について ・次年度感染対策委員会計画について

(3) 介護支援課としての新型コロナウイルス感染症への対応

介護支援課事業の対象者は、重症化リスクの高い高齢者であり基礎疾患をもった中重度の方が多いことから、従来から実施している感染予防対策の徹底と、関係省庁から発出される各種通知を遵守しながら、在宅での生活に欠かせないサービスを継続できるように、臨時感染対策委員会を適宜開催し、日々更新される情報を整理し、必要な情報の共有・対応の確認と徹底に努めました。

開催日	主な事項
2/12 (水)	・経営会議へ対応提案
2/17 (月)	・課長・係長・管理者による状況・情報整理
2/18 (火)	・課長・係長・管理者による状況・情報整理 ・老人福祉センター内への感染予防関連ポスター掲示
2/19 (水)	・課長・係長・管理者による状況・情報整理
2/21 (金)	・デイサービス利用者・家族へ通知① (感染予防への協力依頼)
2/25 (火)	・運営管理会議での対策・課題検討 ・サービス向上検討委員会での対策・課題検討
2/26 (水)	・法人運営連絡会議及び衛生委員会への対応課題整理 資料提出
2/28 (金)	・デイサービス利用者・家族への通知② (感染拡大防止への協力依頼) ・居宅介護支援事業所への感染拡大防止協力依頼通知 ・臨時感染対策委員会① (情報状況確認、対策指示) ・老人福祉センター休館決定
3/2 (月)	・臨時感染対策委員会② (情報状況確認・対策指示) ・職員への通知①
3/4 (水)	・臨時感染対策委員会③ (情報状況確認・対策指示)
3/6 (金)	・老人福祉センター休館延長決定
3/9 (月)	・臨時感染対策委員会④ (情報状況確認・対策指示)
3/18 (水)	・臨時感染対策委員会⑤ (情報状況確認・対策指示) ・デイサービスにおける感染対策調整
3/19 (木)	・老人福祉センターにおける感染対策調整
3/24 (火)	・運営管理会議における感染対策の状況と課題検討
3/25 (水)	・臨時感染対策委員会⑥ (情報状況確認・対策指示)
3/27 (金)	・老人福祉センター休館延長決定

3/31（火）	・臨時感染対策委員会⑦（情報状況確認・対策指示）
---------	--------------------------

※事業所ごとの感染対策会議は含んでいません。

※利用者、関連事業所、職員に対して、感染拡大防止に向けた協力依頼文書を発出しました。

※新型コロナウイルス感染症への対応は現在も継続中であり、４月７日の緊急事態宣言等を受けて、介護支援課として「職員行動指針」を独自に発出するなど、より一層の感染防止・拡大防止に向けて取り組みをしています。

（４）業務評価

三重県版介護保険事業自主点検シートによる運営基準・人員基準、各種加算内容の点検を行い、法令遵守の徹底に努めました。

（５）専門性の向上

①介護支援課全体職員研修会の実施

	開催日	研修内容
第１回	9/25 （水）	虐待防止研修会 三重県高齢者虐待防止チーム委員 市川知律先生
第２回	11/13 （水）	虐待予防研修会・事例検討会 一般社団法人明慎福祉会 藤田朋紀会長
第３回	12/11 （水）	感染予防研修会 名張市立病院感染管理室 城村裕一先生

※「多職種連携」を法人全体で進めていくことも目的に、地域福祉課職員にも研修参加を促し課を越えた交流・相互理解の場を確保しました。

②各種研修会への参加及び事業所内での事例検討・研修の実施

研修分類	デイ	居宅	老福	計
スキルアップ関連研修	１５	１８	０	３３
関連分野関連研修	１１	６	１	１８
資格関連研修	０	１１	０	１１
事業所内事例検討等	３２	４４	３	７９

（６）業務効率化

・老人デイサービス事業及び居宅介護支援事業において、平成１２年の介護保険開始当初から活用していたシステムを、業務効率と ICT の視点で見直し、新システムを令和２年１月より導入しました。

・各事業における事務事業の精査を行い、事業本部配置の事務職員への一元管理等を行いました。

・通所系事業における介護助手の導入の検討を行い、次年度より配置予定となっています。

4. その他	(1) 指定権者による介護保険サービス実地指導 ・居宅介護支援事業所：令和2年2月17日実施 (2) 介護保険事業指定更新手続きの実施 ・居宅介護支援事業所：令和2年2月27日手続き完了 ・通所介護事業所：令和元年11月22日手続き完了 (3) 事業廃止手続き ・訪問看護ステーション：令和2年3月13日手続き完了 (4) 実習生等の受入 ・居宅介護支援事業：1名（3日間） ・通所介護事業所：3名（3日間 中学生職場体験） (5) 保育園との交流 ・通所介護事業所：18回
--------	--

Ⅲ 【昭和保育園拠点】（昭和保育園）

1. 事業の概要

1. 保育目標

昭和保育園の めざす子ども像	心身ともに健康な子ども ～よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ子ども～ ○体力のある子ども ○意欲のある子ども ○友だちと感じあえる子ども
-------------------	--

2. 保育実績

保育人数	0歳児 9名、1歳児16名、2歳児22名 3歳児24名、4歳児25名、5歳児25名 合計121名
土曜日保育	延べ1,665名 平均33名/週

3. 年間行事（園行事）

4月 5日（土）	はじまりのつどい	11月 8日（金）	親子遠足
4月 8日（月）	花見	11月 29日（金）	キッズスクール
4月 19日（金）	よもぎ摘み（5歳）	12月 14日（土）	生活発表会
5月 24日（金）	春の遠足	12月 20日（金）	冬のお楽しみ会
6月 9日（土）	やなせまつり	12月 25日（水）	もちつき
6月 11日（月）	交通安全教室	12月 27日（金）	修業式
7月 5日（金）	七夕会	1月 6日（月）	新年の集い
7月 16日（火）	プール開き	1月 16日（木）	修了記念撮影
7月 26日（金）	夏のお楽しみ会	1月 21日（火）	早寝早起き朝ごはん
8月 3日（土）	お久し振り1年生	2月 5日（水）	春のつどい
8月 5日（月） 6日（火）	プール自由参観	2月 13日（木）	焼き芋会
8月 6日（火）	親子へいわのつどい	3月 4日（水）	交通安全教室
10月 5日（土）	運動会	3月 6日（金）	一日入園
10月 8日（火）	芋ほり	3月 12日（木）	お別れ会
10月 18日（金）	秋の遠足	3月 26日（木）	卒園式
10月 27日（日）	秋の親子神輿	3月 27日（金）	修了式

2. 適切な運営体制確立

1. 運営委員会の開催

保護者や地域に開かれた運営を推進するため、運営委員会を2回開催し、保育計画や保育内容についての協議を行いました。

開催日	内容
第1回 6月2日（土）	・平成31年度保育計画について ・保育課程（年間計画・保健計画・食育計画） ・平成30年度の事業報告 ・平成31年度の事業計画

第2回 3月2日(月)	・平成31年度の状況報告 ・令和2年度の事業計画
----------------	---

2. 施設環境整備の推進

環境整備のため設置	・アスレチックトンネル（園庭設置）・入退場門 ・おむつ取替台・電子ピアノ・バルーン・カメラ ・ベビーカー・センサーライト取付 ・乳幼児用防災ずきん・備蓄レトルト食品&飲料水 ・ポータブル蓄電池・加湿空気清浄機 ・机&パイプ椅子・抗菌食べこぼしマット ・情報セキュリティ(インターネット回線)環境整備 ・パソコン6台・勤怠管理システムソフト追加
老朽化のため改修	・保育室ドア修繕・アコーディオンカーテン取替 ・保育室空調室内機修理 ・職員便所(一基洋式化)改修工事 ・給食室床改修並びに横引ロール網戸化改修 ・回転釜ガス配管修繕及び大釜蓋取替 ・給食室空調機器追加工事

3. 健康管理の推進

内科健診	4月11日(木)、10月17日(木)
尿検査	4月19日(金)
歯科検診	6月20日(木)
歯みがき指導	5月30日(木)
5歳児健診	6月19日(水)、10月18日(金)
身体計測	乳児(毎月)、幼児(隔月)
視力検査	11月14日(木) 5歳児、2月13日(木) 4歳児

①職員の健康診断

②給食・調乳に係る職員の検便(毎月2回)

③防虫対策(可動式除菌・害虫駆除器クッカノンスーパー設置)

4. 防災計画実施と交通安全指導の推進

年間計画を立て、毎月1回避難訓練を実施しました。また、保護者代表の幼児交通安全クラブ員3名がリーダーとなり、交通安全教室を開催しました。

①避難訓練実施

4月	話を聞く(火災・地震)	10月	火災想定
5月	火災想定	11月	長時間延長保育中
6月	消防署員による指導	12月	消防署員による指導
7月	不審者進入想定	1月	地震想定
8月	風水害	2月	近隣よりの火災想定
9月	地震想定	3月	総合訓練

②交通安全教室（指導）実施

6月11日(火)	交通安全教室実施（交通安全協会女性部より指導を受ける）
3月4日(水)	交通安全教室実施（三重県交通安全協会より指導を受ける）

5. 保護者との連携

年齢毎に年1回、おやつ試食会と同日にクラス懇談会を開催し、保育園での遊びや生活の様子を伝えました。子育て相談や、就学前相談・個人懇談を実施し保護者との連携を図りました。

6. 地域との交流の推進

- ①藤堂家邸の花見（4月6日(土)）
- ②寿栄神社境内散歩（随時）
- ③高齢者さんとの交流（ふれあいデイサービス）月2回
- ④小学校運動会参加（年長児）
- ⑤秋祭り親子神輿参加（10月27日(日)）
- ⑥戎祭り見学（2月7日(金)）
- ⑦小学校訪問（2月19日(水)）

7. 幼児の体力の向上

固定遊具を増設し、園庭で自ら体を動かして遊ぶ環境を整えました。

同シリーズの遊具を計画的に増設することで、アスレチック風な遊びが実現し、楽しみながら運動発達を向上させることに繋がりました。

8. 読書活動の推進

子どもの興味や発達に応じた絵本を購入し、お話会を月一回開催しました。また、絵本の紹介や子どもの読書の様子を伝える「絵本の扉」を発行し、保護者への読書啓発に繋がりました。

9. ふれあい活動・高齢者との交流

- ①小、中、高校生とのふれあい活動（夏休み 2名）
- ②職場体験（名張中、赤目中、南中より13名）
- ③デイサービスの利用者の方と月2回、年長児が歌やふれあい遊びなどを一緒に行い交流をしました。（冬季感染期間を除く）

10. 職員の資質向上の推進

年間計画を立て、園内研修を進め園外研修にも積極的に参加しました。また、保育士の技能・経験に応じ専門リーダー（乳児・幼児・発達支援・子育て・食育・図書・保健・アレルギー・栄養管理）となりキャリアアップに繋がりました。

①研修内容

園内研修	・人権保育 ・障害児保育 ・公開保育 ・乳児保育 ・幼児保育 ・救急救命
園外研修	・な同会（なばりの同和保育を考える会） ・絵本 ・障害児保育 ・乳児保育 ・幼児保育 ・発達支援 ・食育 ・保健 ・公開保育 ・わらべうた ・保育実践 ・地域子育て ・保護者支援

②実習生の受入

実習目的	人数	学校名
保育実習	7名	畿央大学 京都女子大学 他3校
小児看護	2名	名張市立看護専門学校
インターンシップ	5名	名張高等学校

3. 特別保育事業

1. 低年齢保育事業の推進

生後6か月より受け入れ、0歳児～2歳児まで47名の子どもを保育しました。年齢の発達に応じ、年間・月別に保育計画を持ち、一人ひとりの子どもの個別計画や個人記録をとり、保護者支援（育児相談やアドバイス、看護師による健康相談）を行いました。

2. 延長保育事業の推進

①延長保育の利用実績（平日 18：15～19：15）

4月	19名	8月	31名	12月	39名
5月	18名	9月	30名	1月	23名
6月	22名	10月	42名	2月	15名
7月	12名	11月	23名	3月	37名

一か月平均 26名 年間延べ利用人数 311名

②スポット保育の利用実績

延長保育の登録園児以外にも朝、夕の突発的な標準時間保育・延長保育に対応しました。

3. 個別乳幼児特別支援事業の推進

個別支援計画を立て、3歳児2名、5歳児1名の障害児保育を行いました。

5歳児健診、定期巡回訪問、就学前教育相談を行い、途切れのない発達支援を行いました。

4. 異年齢交流の推進

毎週火曜日ににこにこデーを開催し、3．4．5歳児で、体操やふれあい遊びを行いました。

5. 一時預かり保育事業の推進

保護者の就労や疾病、育児に伴う心理的・肉体的負担の解消など私的な理由やその他の事由により保育を必要とする児童を、延べ430名預かりました。

	利 用 児 童 数						
	半日			一日			計
	① 勤務形態等	② 緊急一時的	③ 私的理由等	① 勤務形態等	② 緊急形態等	③ 私的理由等	
合計	5	7	8	231	105	74	430

6. 家庭支援保育の推進

保護者の気持ちに寄り添い、子育て相談に応じるなど家庭推進保育士を中心に保護者支援を行いました。

4. マイ保育ステーションの取り組み（地域の子育て支援事業の推進）

育児体験や育児相談、一時預かりサービス利用を通して、妊娠期から途切れのない地域の子育て支援の拠点として事業に取り組みました。

1. マイ保育ステーションの実績

項目	人数	内容
新規登録	2 3 5 名	未就園児、妊婦の登録者
利用人数	延べ4, 7 5 3 名	0歳児とその親の利用が全体の半数を占め、全て3歳未満児。妊婦は延べ1 4 6 名利用。
一時預かり 無料体験	6 1 名	年1回、午前もしくは午後の半日無料で一時預かり保育を実施

2. 毎月の行事内容

行事	内容
わらべうた	第1木曜：わらべうた・ふれあい遊び
バルーンアート	第2木曜：風船で楽しい事をします
折り紙で遊ぼう	第3木曜：親子で折り紙遊び
ミッチーと遊ぼう	各月第4木曜：パネルシアター・絵本・わらべうた
ステーションで遊ぼう	制作遊びやパワールームで遊びます
絵本大好き	ステーションのスタッフによる絵本のお話会
ナースと一緒に	昭和保育園の看護師による身体計測と相談
おやつ試食会	給食員の手作りおやつを食べます
誕生日会	誕生日会をします
その他	園庭開放・夏期時は水あそび・避難訓練

5. 「子ども子育て新制度」に沿った事業展開

保育指針改定に伴い、保育課程を作成し保育実践に結びました。教育委員会と連動し年4回「ばりっ子ピカピカ小1学級体験プロジェクト」を実施し、就学前教育に取り組みました。

Ⅳ 【総合福祉センターふれあい拠点】（地域福祉課）

1. 総合福祉センター指定管理事業

1. 施設の維持管理

①設備の保守点検・修繕等による安全管理と施設の長寿命化

ア. 令和元年度から引き続き、向こう5年間の指定管理者の指定を受けたことから、福祉関係団体や市民のみなさまが安心、安全に集う場として活用されるよう、施設及び設備の保守点検・修繕等を実施しました。

大規模改修としては、名張市において、駐車場管制装置の改修を実施しました。あわせて、令和2年度に実施する吊り天井の改修に向け、名張市と調整しました。

また、総合福祉センターふれあいは、築24年が経過し、施設、設備の老朽化が顕著となっていることから、設備更新や大規模修繕を確実に実施していくため、非常用発電機設備、受変電設備等の改修に向けて名張市へ要請を行いました。

施設の管理状況

主 な 管 理 項 目	費 用
警備業務委託	549,360円
自家用電気工作物保安全管理業務委託	456,996円
昇降機保守点検業務委託	1,189,080円
駐車場管制装置保守点検業務委託	178,200円
構内交換電話設備保守業務委託	154,344円
清掃業務委託	2,801,645円
設備保守管理業務委託	8,711,280円
運営管理にかかる休日及び時間外業務委託	2,125,662円
敷地内高木伐採作業委託	310,176円
その他	506,928円
管理に要した費用合計	16,983,671円

イ. 施設の修繕状況

危険度や重要度を考慮し、名張市と協議しながら、順次、修繕を行いました。

主な修繕箇所	風呂用薬注装置取替修繕、屋上機械室給湯用循環ポンプ取替修繕、ろ過器排水ソケット修繕、貯湯タンク用安全弁他取替修繕、駐車場出入口縁石修繕工事、ふれあいホール音響設備電源制御ユニット修繕、密閉式膨張タンク及び安全弁取替修繕、1階多目的トイレ手洗器水栓修繕、駐車場舗装修繕工事 等
修繕に要した費用	2,328,338円

②施設利用状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年3月より貸館を止めたことに伴い、利用件数及び利用料が減少しました。

ア. 会議室・ホール利用件数： 1, 855 件（前年比 292 件減）

イ. 利用料・参加費収入

内 訳	金 額
会議室・ホール	1, 693, 675 円
駐車場	198, 250 円
コピー・印刷代	202, 109 円
卓球台	110, 200 円
合 計	2, 204, 234 円

③環境美化活動の計画的実施による施設周辺の管理

ア. 総合福祉センター内各事業所職員による美化活動

年間を通じて施設周辺の除草作業や周辺歩道等の落葉掃き及び側溝等の浚渫を行いました。

2. 施設利用者の意見反映

利用者の意見は、センター内に設置した「ご意見箱」や窓口対応により把握し、施設サービスや職員資質の向上につなげるように努めました。

利用者の意見を反映し、各階トイレに杖ホルダーを設置しました。

3. 防災対策

①防火管理委員会の開催

第 1 回 7 月 12 日(金)	第 2 回 3 月 3 日(火)
-------------------	------------------

②消防計画に基づく消防、防災訓練の実施

総合福祉センター内での火災及び大地震発生を想定し、各事業所職員を対象とした消防、防災訓練を実施しました。

実施日時	7 月 25 日(木)13:30～15:00	3 月 13 日(金)13:30～15:00 中止 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による貸館中止に伴い訓練を中止しました。
訓練内容	南海トラフを震源とした大地震により、市内で震度 6 強を観測したため避難誘導と、けが人が発生したための搬送と応急処置、揺れが治まった直後に 2 階湯沸室から出火したとの想定で実施しました。 ・通報訓練 ・避難誘導訓練 ・初期消火訓練 ・消防用散水栓による消火訓練	
参加者	社協、名張連絡所、名張市シルバー人材センター、ハローワークプラザ名張、家庭児童相談室、デイサービス利用者及び老人福祉センター利用者	